

平成30年 8月10日

各 位

トモニホールディングスグループの平成31年 3月期第 1 四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、平成31年 3月期第 1 四半期（平成30年 4月 1日～平成30年 6月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：吉岡宏美）、香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：本田典孝）及び大正銀行（本店：大阪府中央区、頭取：吉田雅昭）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス
（1）平成31年 3月期第 1 四半期（平成30年 4月 1日～平成30年 6月30日）連結業績

当第 1 四半期における損益状況は、経常収益は、役員取引等収益や国債等債券売却益が増加したこと等により、前年同期比752百万円増加して18,383百万円となりました。経常費用は、与信関連費用や株式等売却損が増加したこと等により、前年同期比1,027百万円増加して13,994百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比276百万円減少して4,388百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比346百万円増加して3,557百万円となりました。

当第 1 四半期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は前年度末比263億円増加して 3兆8,387億円、純資産は前年度末比29億円増加して2,221億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前年度末比907億円増加して 3兆4,904億円、貸出金残高は前年度末比180億円増加して 2兆6,957億円、有価証券残高は前年度末比518億円減少して7,132億円となりました。

		平成31年 3月期 第 1 四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	18,383百万円	752百万円
	経常費用	13,994百万円	1,027百万円
	経常利益	4,388百万円	△276百万円
	親会社株主に帰属する四半期純利益	3,557百万円	346百万円
		平成31年 3月期 第 1 四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	38,387億円	263億円
	純資産	2,221億円	29億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	34,904億円	907億円
	貸出金	26,957億円	180億円
	有価証券	7,132億円	△518億円

（2）平成31年 3月期（平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日）連結業績予想

平成30年 5月15日に公表しております平成31年 3月期第 2 四半期累計期間及び通期の連結業績予想（経常利益及び親会社株主に帰属する当期（中間）純利益）につきましては、修正ございません。

2. 徳島銀行

(1) 平成31年3月期第1四半期（平成30年4月1日～平成30年6月30日）単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、有価証券利息配当金や役員取引等収益が増加したこと等により、前年同期比951百万円増加して6,983百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比512百万円増加して5,331百万円、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比530百万円増加して1,941百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用は増加したものの、国債等債券関係損益及び株式等関係損益が増加したこと等により、前年同期比100百万円増加して1,555百万円となり、四半期純利益は、前年同期比278百万円増加して1,288百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比388億円増加して1兆5,343億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比404億円増加して1兆6,563億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比61億円増加して1兆711億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りましたが、前年度末比492百万円増加して18,506百万円、総与信に占める割合は1.69%となりました。

		平成31年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	6,983百万円	951百万円
	コア業務粗利益	5,331百万円	512百万円
	コア業務純益	1,941百万円	530百万円
	経常利益	1,555百万円	100百万円
	四半期純利益	1,288百万円	278百万円
	与信関連費用	695百万円	685百万円
		平成31年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	16,416億円	△102億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	15,343億円	388億円
	総預り資産	16,563億円	404億円
	貸出金	10,711億円	61億円
	有価証券	3,850億円	△404億円
不良債権	金融再生法開示債権額	18,506百万円	492百万円
	総与信に占める割合	1.69%	0.03%

3. 香川銀行

(1) 平成31年3月期第1四半期（平成30年4月1日～平成30年6月30日）単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、役員取引等収益が増加したものの、株式等売却益が減少したこと等により、前年同期比52百万円減少して7,097百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、役員取引等利益が増加したこと等により、前年同期比111百万円増加して5,604百万円、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比242百万円増加して1,861百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が減少しましたが、株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比10百万円減少して2,158百万円となりました。四半期純利益は、前年同期比363百万円増加して1,816百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比537億円増加して1兆5,164億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比515億円増加して1兆6,590億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比115億円増加して1兆2,328億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りましたが、前年度末比127百万円増加して22,081百万円、総与信に占める割合は1.76%となりました。

		平成31年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	7,097百万円	△52百万円
	コア業務粗利益	5,604百万円	111百万円
	コア業務純益	1,861百万円	242百万円
	経常利益	2,158百万円	△10百万円
	四半期純利益	1,816百万円	363百万円
	与信関連費用	104百万円	△14百万円
		平成31年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	17,005億円	333億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	15,164億円	537億円
	総預り資産	16,590億円	515億円
	貸出金	12,328億円	115億円
	有価証券	2,806億円	△67億円
不良債権	金融再生法開示債権額	22,081百万円	127百万円
	総与信に占める割合	1.76%	△0.01%

4. 大正銀行

(1) 平成31年3月期第1四半期(平成30年4月1日～平成30年6月30日)単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、利回りの低下に伴う貸出金利息や有価証券利息配当金が減少したこと等により、前年同期比21百万円減少して2,483百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比108百万円減少して1,917百万円、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比89百万円減少して315百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益が減少したこと等により、前年同期比43百万円減少して531百万円となり、四半期純利益は、前年同期比32百万円減少して371百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金等が減少し、前年度末比14億円減少して4,642億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比12億円減少して4,854億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比5億円増加して3,997億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比27百万円減少して6,454百万円、総与信に占める割合は1.61%となりました。

		平成31年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	2,483百万円	△21百万円
	コア業務粗利益	1,917百万円	△108百万円
	コア業務純益	315百万円	△89百万円
	経常利益	531百万円	△43百万円
	四半期純利益	371百万円	△32百万円
	与信関連費用	△150百万円	△116百万円
		平成31年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	5,145億円	34億円
	預金等(譲渡性預金を含む)	4,642億円	△14億円
	総預り資産	4,854億円	△12億円
	貸出金	3,997億円	5億円
	有価証券	452億円	△47億円
不良債権	金融再生法開示債権額	6,454百万円	△27百万円
	総与信に占める割合	1.61%	△0.01%

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
 株式会社徳島銀行 企画部
 株式会社香川銀行 総合企画部
 株式会社大正銀行 企画部

TEL : 087-812-0102
 TEL : 088-656-1118
 TEL : 087-812-5132
 TEL : 06-6205-8400